

## 活動報告

# 活動報告（2013年度）

(敬称略)

年月日	報告者および報告論題
2013年	
3月5-6日	第31回年次研究大会
3月5日	第1日目「ゲスト報告」
	<司会> 堀林巧（金沢大学）
	<報告> 藤田菜々子（名古屋市立大学） 「ミュルダールの経済思想とスウェーデンの福祉政策」
	<司会> 林裕明（島根県立大学）
	<報告> 大黒弘慈（京都大学） 「模倣と権力の経済学：「アダム・スミス問題」再考」
	<司会> 小西豊（岐阜大学）
	<報告> 西村貢（岐阜大学） 「岐阜市中心市街地の変遷と活性化の可能性」
3月6日	第2日目「自由論題」
	<司会> 柳原剛司（松山大学）
	<報告> 岩崎一郎（一橋大学） 「移行経済における外国直接投資のマクロ経済効果：メタ分析」
	<報告> 横川和穂（神奈川大学） 「ロシアにおける地方財政構造の特徴」
	<司会> 横川和穂（神奈川大学）
	<報告> 徳永昌弘（関西大学） 「環境ガバナンスの中露比較」
	<報告> 小西豊（岐阜大学） 「障害者雇用の国際比較——日本・ドイツ・スペイン・ロシア」
	<報告> 林裕明（島根県立大学） 「労働モチベーション比較の分析視角と分析枠組」
	<報告> 藤原克美（大阪大学） 「ロシアにおける人的資源管理の特徴と課題」
4月20日	<報告> 伏田寛範（日本国際問題研究所） 「藤原克美著『移行期ロシアの繊維産業』（春風社、2012年11月）を読む」
	<リプライ> 藤原克美（大阪大学）

比較経済体制研究 第20号

- < 報告 > 田中宏（立命館大学）  
「EU のマクロ地域戦略：ドナウ流域のケース」
- < コメント > 桜本英雄（弘前大学）
- 5月30日 < 報告 > Karoly Fazekas (Institute of Economics, Centre for Economic and Regional Studies, Hungarian Academy of Science, Hungary)  
"Doing economics and economic policy advice in a middle income trap economy in Europe"
- 6月22日 < 報告 > 堀江典生（富山大学）  
「ロシアの職業分類と労働市場」
- < 報告 > 柳原剛司（松山大学）  
「危機後のハンガリー経済と年金制度の動向」
- 8月9日 < 報告 > Petr Pavlinek (University of Nebraska at Omaha)  
"Internationalization of R&D and the development of automotive R&D in East-Central Europe"
- 9月19日 < 報告 > 徳永昌弘（関西大学）  
「『20世紀ロシアの開発と環境——「バイカル問題」の政治経済学的分析』の紹介」
- 9月26日 < 報告 > 堀林巧（金沢大学）  
「資本主義と労働——労働哲学・社会学・経済学から欧州社会政策の労働観を捉える——」
- < 報告 > 林裕明（島根県立大学）  
「働き方と労働モチベーションに関する国際比較——日本とロシアを中心」
- 10月26日 < 報告 > 溝端佐登史（京都大学），林裕明（島根県立大学）  
「移行後の社会展望——CSR および労働の視点から——」
- < 報告 > 上林憲雄（神戸大学）  
「労務研究の変遷と労働モティベーションに関する一考察：自律性概念に着目して」
- 11月1-2日 Asian Economic Community Forum 2013 (於 : Hyatt Regency Incheon)  
(Asian Economic Community Foundationとの共催)
- 11月1日 < テーマ > Social Perspective beyond Transition  
< 司会 > Byung Yeon Kim (Seoul National University)  
< 報告 > Katsumi Fujiwara (Osaka University)  
"Social Outcome of De-industrialization: From the Case of Textile industry in Rusia"

## 活動報告

- < 報告 > Hiroaki Hayashi (The University of Shimane)  
"Changes of Working Life and Work Motivation in Russia"
- < 報告 > Kazuho Yokogawa (Kanagawa University)  
"Public Finance and Local Community in Russia after Transition"
- < コメント > Won-Yong Sung (Incheon National University)  
Young-Jin Kim (Hanyang University)
- 11月11日 < 報告 > Wojciech Bienkowski (Lazarski University)  
"Polish economy in the EU"
- < 報告 > Olga Kupets (Kiev-Mohyla Academy University)  
"Labor market challenges of an aging and shrinking population in Ukraine"
- 12月6日 < 報告 > Alena Ledeneva (UCL, SSEES)  
"Sistema, Power Networks and Informal Governance"
- < 報告 > 岡奈津子 (ジェトロ・アジア経済研究所)  
"From blat to bribe?: Informal Practices in Post-Soviet Kazakhstan"
- < 報告 > Stanislav Shekhnia (INSEAD)  
"Corporate Governance in Russia: Modern Facade and Traditional Practice"
- 12月13日 < 報告 > Alexandr Vilenskiy (National Institute for System Studies of Entrepreneurship (NISSE)/京都大学)  
"Characteristics of Small and Medium-sized Businesses in Russia and its State Support"
- < コメント > 溝端佐登史 (京都大学)
- 12月14-15日 国際カンファレンス  
"International Comparison on Variety of Capitalism and Work Motivation"
- 12月14日 労働生活の変化と労働モチベーションの国際比較  
セッションI 「資本主義の類型と労働モチベーション」
- < 司会 > 岩崎一郎 (一橋大学)
- < 報告 > 遠山弘徳 (静岡大学)  
「労働生産性と再分配選好——順序ロジットにもとづく分析——」
- < 報告 > 松原仁美 (大阪市立大学)  
「フランスにおける週35時間労働制と雇用政策の変化」
- < 報告 > 里上三保子 (京都大学大学院)  
「ドイツ労働市場改革と労働モチベーション」
- < 報告 > 溝端佐登史 (京都大学)  
「CSRの視点から見たロシアの労働モチベーション」
- < コメント > 堀林巧 (金沢大学)、堀江典生 (富山大学)、岩崎一郎 (一橋大学)

比較経済体制研究 第20号

セッションII 「労働の現場と労働モチベーション」

<司会> 小西豊(岐阜大学)

<報告> 伊原亮司(岐阜大学)

「モチベーションを下げる労務施策、コントロールが困難な職場文化——  
日産自動車の事例——」

<報告> 橋口昌治(立命館大学)

「職場における無法状態の広がりと働くことへの信頼」

<報告> 藤原克美(大阪大学)

「ロシア企業から考える労働モチベーションの課題」

<報告> 林裕明(島根県立大学)

「ロシアにおける働き方の変化と労働モチベーション——日本との比較  
を中心」

<コメント> 上林憲雄(神戸大学), 小西豊(岐阜大学)

12月15日 Open Lectures "Variety of Capitalism and Transformations in Working Life:  
Issues in International Comparison"

<司会> Hiroaki Hayashi (The University of Shimane)

<報告> Simon Clarke (University of Warwick)

"Labour motivation and the labour market in a soviet-type system: historical  
legacies and contemporary challenges"

<報告> Geoffrey Wood (University of Warwick)

"The Rise and fall of Complementarity and National Institutional Orders"

<司会> Norio Horie (Toyama University)

<報告> Pavol Babos (Slovak Academy of Sciences)

"Variety of labor markets within the varieties of capitalism in Central and  
Eastern Europe"

<報告> Ngoc Anh Nguyen (National Economic University, Vietnam)

"Social Capital and Motivation in the Enterprise"

<報告> Richard Deeg (Temple University)

"Financialization and Institutional Change in Capitalisms: A Comparison of the  
US and Germany"

2014年 <報告> 田淵太一(同志社大学)

2月21日 <報告> 「ケインズの能率賃金論」

2月26日 <報告> Xiaobo Zhang (Peking University)

"Cluster-based industrialization in China"

## 活動報告

- < 報告 > Miaojie Yu (Peking University)  
"Processing trade, trade liberalization, and firm productivity"
- 3月5-6日 第32回年次研究大会
- 3月5日 セッションI「自由論題①」
- < 司会 > 小西豊（岐阜大学）  
< 報告 > 横川和穂（神奈川大学）  
「ロシアにおける地方公共サービスと住民生活」
- < 報告 > 里上三保子（京都大学大学院）  
「ドイツ労働市場の分析視角」
- < 報告 > 橋場説子（京都大学大学院）  
「ロシア労働市場における労働の移動」
- セッションII 「日本の労働者の労働モチベーション」
- < 司会 > 林裕明（島根県立大学）  
< 報告 > 熊沢誠（甲南大学）  
「ふつうの労働者の「働きすぎ」の背景にあるもの」
- <コメント> 田中宏（立命館大学），里上三保子（京都大学大学院）
- 3月6日 セッションIII 「自由論題②」
- < 司会 > 横川和穂（神奈川大学）  
< 報告 > 小林拓磨（京都大学）  
「中国の産業立地と重複建設」
- < 報告 > 山脇大（京都大学大学院）  
「ロシアにおける随伴ガスとその処理問題」
- < 報告 > Renat Butabaev（名古屋大学大学院）  
"There is no Growth without (Structural) Change: Policy Implications for Transition Economies"
- セッションIV 「ポーランドの経済と経営」
- < 司会 > 岩崎一郎（一橋大学）  
< 報告 > Jan Hagamejer (University of Warsaw) and Joanna Tyrowicz (University of Warsaw)  
"Budgetary Tension and Privatization - The Effects on Firm Performance"
- セッションV 「ロシアの社会と労働」
- < 司会 > 林裕明（島根県立大学）  
< 報告 > John Round (National Research University Higher School of Economics)  
"The Impact of Informality on Work Motivation in Russia"
- 3月11日 < 報告 > Steven Rosefield (University of North Carolina)  
"Secular Crisis: The Mundell-Fleming Trilemma and EU De-Legitimation"